

「まわしよみ新聞×演劇ワークショップ～壁新聞を演じてみよう～」 @ピッコロシアター

概要

近年、教育現場では「アクティブ・ラーニング」が推奨されているが、ピッコロシアターではそのニーズに応え、2015年より、壁新聞づくりと演劇を融合させたコミュニケーション・ワークショップを実施している。例年、高校生からシニアまで幅広い年齢層が集結し、ユニークな作品が生まれている。

内容

■まわしよみ新聞（壁新聞づくり） 約2時間
持ち寄った新聞をグループでまわし読み、各自が気になる記事をスクラップし、紹介したり、感想を出し合う。持ち寄った記事を大型紙に貼りつけ、見出しや感想などを書き込み、壁新聞を完成させる。

■演劇ワークショップ（壁新聞を演じる） 約3時間
グループごとに壁新聞から記事を選び、書かれている当事者や書き手の気持ち、ニュースの背景などを話し合う。セリフや動きを考え、短い演劇作品として稽古し発表する。



効果

他者と交流することで視野が広がる！
新聞記事を紹介することでプレゼン力アップ！
ニュースの当事者の気持ちを考えることで想像力アップ！
想像したことを身体を使って演じることで表現力アップ！
チームワークの大切さや集団創造の楽しさを体感！

毎年参加して下さるリピーターや、参加をきっかけに観劇、ピッコロ演劇学校への入学を検討される方がいる。

陸奥 賢

まわしよみ新聞 考案者



新聞という文字表現と演劇という身体表現によって近代日本（国民国家）が形成されていきました。民主主義の涵養に、このふたつのメディアは欠かせません。その融合が、まわしよみ新聞&演劇ワークショップです！

三坂 賢二郎

兵庫県立ピッコロ劇団



手軽に情報を取捨選択しその気になれば簡単に自己を表現した風で自由でいる気になつてその縛られたあなた。新聞を読んで。演劇をやっ。正解など見つかりはしないが少なくとも世界は広がる。

参加者の感想

「初めての参加で緊張もしましたが楽しかったです。おもしろかったです」
「いろんな人と交流ができて楽しかったし、眼鏡が壊れた人の演技を皆さんに褒めてもらい嬉しかった」
「他のグループの劇も世相やギャグが入っており関西の人はおもしろいと思いました」
「1つの記事でも考えが違ふ。いろいろな人の考え、意見が聴けて楽しかったです」

また上記のほか、「月1で開催して欲しい」「他の人にも薦めたい」など、例年沢山のご要望を頂き大好評。



宣伝

＼今年も開催！ぜひぜひご参加ください！／
ピッコロ実技教室「まわしよみ新聞×演劇ワークショップ～壁新聞を演じてみよう～」

日時 2025年9月
場所 兵庫県立ピッコロシアター
参加費 無料
募集人 高校生500円
連絡先 06-6426-1940

8月はピッコロシアターの誕生月。「ピッコロフェスティバル」と称して、様々な舞台芸術に関連するワークショップ・企画を開催中。

詳しくはHPをチェック！⇒



ピッコロシアターとは

学校とプロ劇団を運営する日本で唯一の公立劇場

1978年開館

3000名近くが卒業！
舞台づくりを通して地域文化を支える担い手を育成

ピッコロ演劇学校 1983年開校
ピッコロ舞台技術学校 1992年開校

全国初の県立劇団！
劇場・学校での公演や、演劇を使ったコミュニティづくりなど、幅広く活動中

兵庫県立
ピッコロ劇団
1994年設立

